

特別賞

はやくトンボになくれ

東町小学校 三浦 はなみ

わたしたちは、三年の時からヤゴ救出大作戦をしています。

きよ年秋にいかだを作りました。竹のぼうで作りました。すぐくたのしかったです。

プールにみんなでかんさつしにいきました。プールはすぐく茶色でにごっていました。上から見ると、むしがおよいでいました。

そして春になって、ヤゴとりがはじまりました。ヤゴは、大きくて多かったです。アメンボやアカ虫やゲンゴロウがいました。

いかだはすこし、しずんでいたけどトンボの赤ちゃんはいるか？

ヤゴはすばやくとれないと思ったら、一ぴきとれました。そのヤゴはゆっくりでした。ヤゴはきょううしつでかいしました。

わたしたち四年生は、三年のころにそだて方をしっているので三年生にそだて方を考えました。

やり方はトレーにすこし水をいれて、ヤゴをいれます。わりばしをはしにやってガムテープでとめます。それでヤ

ゴにえさをあげます。わりばしで、れいとう赤虫をとって生きているようにわりばしをゆらしてヤゴにあげました。ヤゴはおいしくたべてくれました。わりばしもたべちゃいそうないりよくたべていました。すごいです。

ヤゴはおしりからお水を出します。それはいかくをしていからです。なのでヤゴをつつかないでください。

ヤゴが大きくなっていくのがかわいいです。

トンボは害虫をたべてくれるからわるい虫なんてほとんどいけません。なのでトンボがいてよかったです。にがてだけどありがたいです。

わたしは、生き物をそだてて思いました。命をしょっているということ。なので、ヤゴが大きくなってわりばしにくっついてトンボになるのがどきどきしたりまだかなくと思ったりしました。だからトンボはみんなのおともだちです。

わたしは、なぜかもう一回やりたいです。みんなのヤゴがトンボになってよかったです。

生き物を家でいっぱいいたくなりました。

そして生き物の、家を作ってみたくなりました。虫をみているとなごみます。そしてねてしまいそうです。すこしだけ虫にきょうみをもちました。これからも生き物を大切に育てていきたいです。